



第11号

平成29年11月発行

かわしんの 環境活動報告書



かわしんはISO14001を平成16年5月に取得し、環境保全活動を実践しています。

 川口信用金庫



「かわしん」は 地域の経済発展と環境保全に貢献する 信用金庫を目指しています。

みなさん、こんにちは。

今年の夏は、昨年同様に全国的に集中豪雨の被害が続きました。台風は発生数や規模も増大し、日本列島に接近・上陸する事例も多くありました。地球温暖化に伴う異常気象の影響が懸念される所以です。全国の被害に遭われた方には、改めてお見舞い申し上げます。

この様な状況下において、川口信用金庫は社会的責任の一つとしてCO₂削減を掲げ、平成16年に「ISO14001」を取得し、環境問題に真摯に取り組んで参りました。電力使用量削減・紙の使用や廃棄物の圧縮等でCO₂の発生を減少させる「環境負荷低減活動」にかねてより重点を置いて活動しております。

また、金融機関としての本来業務を通じて、環境に配慮した活動を行っている企業や個人に対して環境関連の金融商品を提供し、これからも地域経済の健全な発展と地域環境の保全に貢献して参ります。

今後とも皆様のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月

会 長 山口 泰男
理事長 日下 義章



環境方針

I. 基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一丸となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

II. 基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・環境目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。
2. 前記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再生支援、及び福祉・環境を大切にする地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。
3. 環境に関連する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、その環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

私たちの環境目標 平成29年度目標

I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

1	電力の使用	平成29年度の電力使用量を平成21年度比▲5.20%削減する
2	廃棄物の分別と排出	廃棄物の分別を推進するとともに平成29年度の物件費(別に定める費目)を平成21年度比▲5.20%削減し排出量の削減を図る
3	紙の使用・廃棄	平成29年度の紙費用を平成21年度比▲5.20%削減する

II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

1	既存の環境関連金融商品の拡販
2	新規の環境関連金融商品の企画・開発・販売
3	OA機器の効率的活用
4	コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
5	顧客へのISO普及・支援
6	各種地域貢献活動の立案及び実行
7	環境関連のその他サービスの提供

職員への環境教育

本部、本店営業部への異動者及び新入職員・パート職員を対象に環境教育を実施しています。環境マネジメントに基づいて計画的、継続的に行うことで環境に対する職員の知識と環境意識を啓発、向上させています。



環境意識の啓発と徹底

全職員はEMS（環境マネジメントシステム）カードを携帯しており、かわしんが掲げる『環境方針』『わたしたちの環境目標』『私たちの環境行動ルール』が記載されています。



エコライフDAY2017への積極的参加

川口市は『地球環境にやさしい心を育むまち』として、CO₂排出削減や地球環境保全の施策・取組を推進しています。

その代表的な活動である「エコライフDAY」は、2000年に川口市で始まり全国で取り組まれています。

かわしんは2010年からこのエコライフDAYに参加しています。

平成29年6月に行われた取り組みには職員417人が参加、CO₂削減量は41万4085グラムになりました。

みなさんも簡単なチェックシートで、生活の中で出来る環境への配慮を点検・実践できますのでぜひ参加してください。



ISO14001・2015年改訂版への対応

環境保全活動を更に強化し高度化を図るため、新ISO基準へ向けた態勢整備に取り組んでいく所存です。尚、新しいISO基準の内容については次頁をご参照ください。

平成28年度の事業活動・環境活動

●電力の削減

平成27年度から基準年度を「平成21年度」とし、より厳しい目標に挑戦しています。電力使用料は64万9751kWhで前年と比較し54.04%増加しました。新本店になり規模が増大したことによるものですが、次年度に向けて更なる削減努力を図ります。基準年度比では削減率▲3.09%と若干の未達でありました。

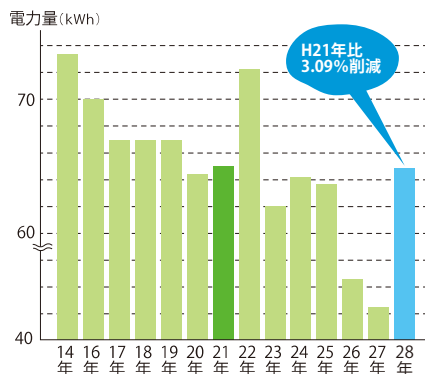
●廃棄物の削減

平成27年度から基準年度を「平成21年度」としました。事業活動に投入した全ての資源は消費され、廃棄されることから、物品の購入金額から廃棄物全体量を把握しています。基準年度比▲3.5%の目標に対して▲2.4%と若干の未達でありました。319万4千円削減しました。

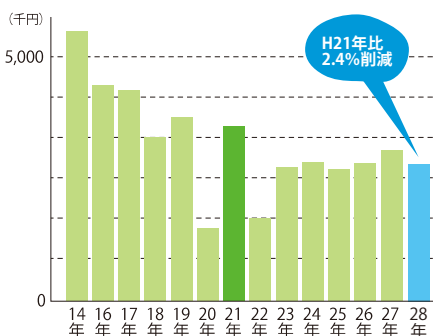
●紙の使用

平成27年度から基準年度を「平成21年度」とし、廃棄物全体のうち「紙の使用量」と「排出量」に注目しました。基準年度比で▲2.21%の削減、目標▲3.5%に対して若干の未達でありました。

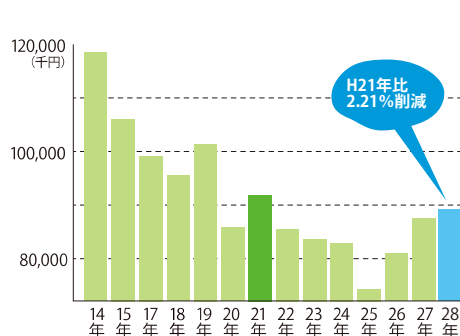
●電力の削減



●廃棄物の削減



●紙の使用



ISO14001・2015年改訂版について

【大改訂の目的】

○ISO14001は、1996年初版発行以来2004年の改訂を経て、2015年9月に20年目の大改訂が行われました。今回は、組織の事業プロセスに環境マネジメントシステムを組み入れています。また他のマネジメントシステム規格と共通化して、効率的・効果的に運用できるようにすることを目的としています。

上記を踏まえJQA定期審査において、2018年登録証更新時には2015年版への移行ならびにISOと業務活動の一体化の推進及び本来業務の課題と環境目標との関連性の強化等が期待されており、今回の改訂実施となりました。

【国際的・社会的背景】

○『京都議定書』に続く2020年以降の地球温暖化対策の国際的枠組みである『パリ協定』が、2015年12月にフランスのパリで開催されたCOP21で採択され2016年に発行しました。具体的には、産業革命前からの平均気温の上昇を2℃未満に抑え、それを1.5℃になるよう世界共通の長期目標を設定しました。各国は自主的な削減目標を作成し、達成に向けた対策を行うことになりました。

【ISO14001・2015年改訂版に対応する際のポイント】

1.戦略的な環境管理

ISO取得金庫にとつての優先事項は何か、当金庫に影響するグローバル規模の環境変化は何かを把握する必要がある。
組織の外部《コントロール不可》及び内部《コントロール可》の課題(職員教育・外部業者への委託等)を認識し、明確化する。

2.リーダーシップ

マネジメントレビューの機会を活用しトップの関与を深める。各取組の実施責任は委譲できるが説明責任はトップが自ら果たす。

3.環境パフォーマンス

成果重視に改訂。マネジメントシステムを改善し、パフォーマンス(システム、ソフトウェアの性能や処理能力)を向上させる。
組織として実施した結果に対して、効果を評価することがより、明確化された。

4.ライフサイクル思考

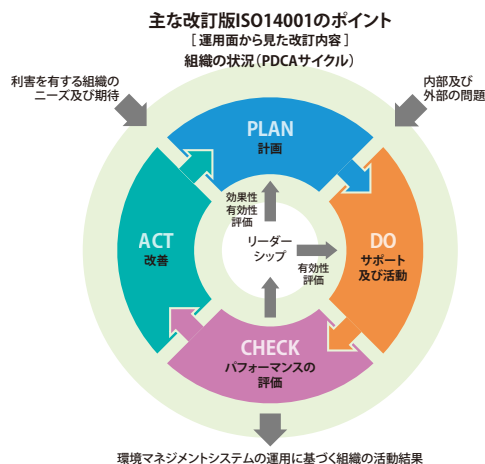
管理範囲がサプライチェーン全体へ拡大、環境負荷の高い箇所から取組む必要がある。

5.コミュニケーション(情報伝達)

金庫内外に信頼性のある情報を如何にしてコミュニケーションするか計画・実行を求められる。法律で求められる報告の他に広告・宣伝等も含まれる。

6.環境保護

汚染の予防に加えて、「持続可能な資源の利用」「気候変動の緩和及び機構変動への適応」「生物多様性及び、生態系の保護」についてのコミットメント(単なる口約束ではなく「行動を縛る具体的な仕組み」)が、目標や施策に反映されているか。



環境保全へ向けた商品

環境クリーン定期預金

環境クリーン定期預金は、販売総額の0.03%に相当する額をかわしんが負担し、森林の保全整備や身近な緑の保全・創出等環境保護のために寄付するものです。平成28年度は第20次の募集販売を2月より行いました。これまでの販売累計は1715億円で、寄付総額は4245万円になります。
環境関連商品によって環境保護活動を経済的に支援するだけでなく、募集パンフレットに「さいたま緑のトラスト写真コンクール」の入賞作品を採用するなど、商品の企画開発を通して環境保護団体との連携も深めています。

エコライフを支援するリフォーム・住宅のローン

自然エネルギー利用や省エネルギー対策など、太陽光発電設備設置、耐震工事などリフォーム(増改築・修繕)資金、バリアフリーリフォーム資金の取扱いをしています。

自家用車購入資金や環境関連融資

ISO14001やISO9001の認証取得を支援する特別融資を企画・開発しています。取得に係る運転資金や設備資金などにご利用頂けます。
エコカー購入などに利用できる変動金利型のカーライフプラン・エコが好評です。



川口信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/ksb/>

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号
TEL048-253-3333 FAX048-254-2665

このパンフレットは環境に配慮し、責任ある森林管理された[FSC®認証紙]にベジタブルインク(植物油インク)で印刷されています。